

小型発券機(JPT500)

小型発券機は、以前からノートパソコンとの接続で小型定期券発行機、乗車証発行機に利用していた。今回、機能を落とすことなく、さらなる省スペース化、印刷方式の変更(リボンを使用した感熱転写方式から直接感熱方式への変更)を目的にリニューアルを行った(図1)。

省スペース化につき、以前の機器は、本体(図2)と電源ユニットが必要であったが、直接感熱への変更によりリボン転写部がいなくなったため、電源を本体内に収めることができ、電源ユニットが不要となった。印字方式の変更は以前からリボンを装着せずに運用していたこともあり、スムーズに移行できた。

開発にあたっては小型発券機だけでなく、磁気読み取り装置としての運用が筐体の変更だけで行えること、また、同様の発券機であるエドモンソン券発行機やICカード発行機などの部品共有も考慮した設計となっている。

主な駅務機器としての用途は次のようになる。

- (1) 卓上型窓口処理機(図3)を制御部とした、小型定期券発行機や乗車券、乗車証発行機
- (2) 複合発行機(TID6000シリーズ)を制御部とした、一括発行タイプの乗車券発行機
- (3) 各種制御部と接続し、磁気読取装置として簡易精算機など

ほか、自由なレイアウトにより各種駅務機器が実現できる。

■ 小型発券機(JPT500)仕様

| 項目 | 内容 |
|---------|--|
| 券紙収納部 | PET券を約250枚収納可能 |
| 磁気エンコード | サイバネ規格に基づいた自動改札情報および購入情報を高保磁力で書き込み後、読み込みチェックし正否の判定を行う。 書込トラック数：10トラック |
| 券面印刷 | 直接感熱方式 ヘッド本数：448本 印字構成：8 dot/mm |
| 操作部 | 券送り、リセット 稼動可、エラーをLED表示 |
| I/F | RS-232C：1ch |
| 電源 | AC100V 1.28A |
| 寸法 | 約310mm×170mm×280mm (W×D×H) |
| 重量 | 約11kg |



■ 図1 小型発券機外観(JPT500)



■ 図2 小型発券機外観(旧型機)



■ 図3 卓上型窓口処理機本体外観